

「マンションの水害対策と課題」

岩堀佑哉

要旨

近年、大雨による水害が多々発生している。その対策の重要性を示唆すべく、マンションの水害対策に焦点を当て、事例を扱いながら論じている。マンションの水害対策において、外水氾濫だけでなく内水氾濫の想定もすべきである。河川付近にある建築物は、排水管等が原因となって起こる内水氾濫の被害を想定し、ハード面及びソフト面の対策が必要となる。例として、事例で問題となった電気設備をマンションの建築時に上階に設置することで被害の軽減に繋がる。あらゆる対策を講じる費用より、被害によって生じる費用の方が負担になる。建築物の設置をする際は、あらゆる災害を想定することで、被災を防げると考えられる。想定外といわれる災害が増えている近年では、あらゆるリスクを想定し、徹底的に対策を講じていく必要があると考える。